

松江市立天文台 ~7月の天文教室~

2013年7月17日

いつもより早く梅雨が明け、いよいよ夏の星空シーズンのはじまりですね。
夕方少し暗くなりかけた西の空に、ひときわ輝く星が見えてきます。これは宵の明星＝金星です。

そして、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブからなる「夏の大三角」もこの時期になると、暗くなってすぐに見つけることができるでしょう。できれば、空の暗い場所で

7月下旬午後8時頃の星空



7月下旬の午後8時頃の星空です。月や土星は7月17日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。

実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下の方にあわせませす。



★今夜の月

7月17日の月は月齢9で、てんびん座にあります。
小型の天体望遠鏡でも、クレーターの形が楽しめます。
月はこれから太くなってゆき、7月23日に満月になります。

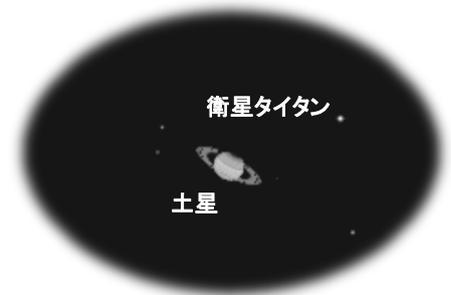
★土星

土星は私たちの地球と同じく、太陽を回る惑星の仲間で、「輪のある星」として人気の天体です。

その美しい姿は、全天で一番美しい天体と言っても過言ではありません。ぜひ天文教室でご覧になってください。

土星は8月上旬まで西の空で見ることができます。

※月も土星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

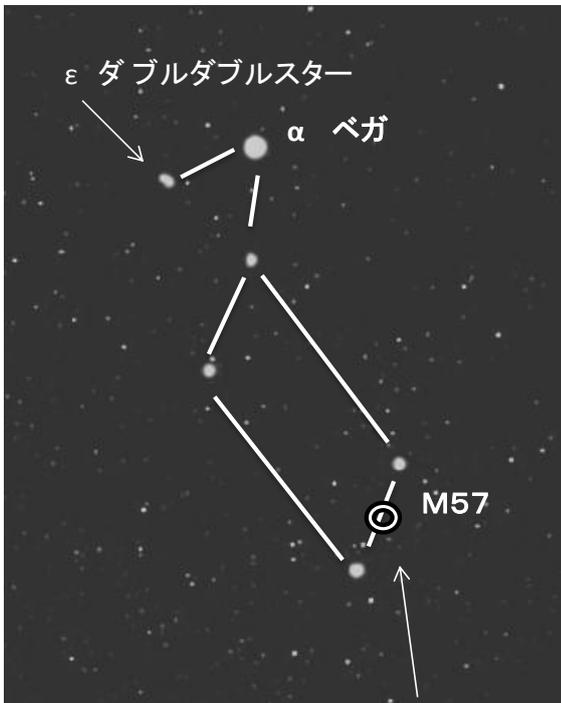


★こと座

七夕の織り姫星でもあるα星ベガの青いダイヤのような輝きと、4つの星からなる平行四辺形が、ハーブを形づくること座は、小さいながら夏の代表的な星座のひとつです。

ギリシャ神話では、妻を死の世界から助けようとする、琴の名手オルフェウスの持つ琴として伝えられています。

ベガのとなりにあるε(イプシロン)星は、双眼鏡でも2つの星に分かれて見えますが、小型の天体望遠鏡で見ると、それぞれがさら2つに分離して見えるので、ダブルダブルスターと呼ばれています。

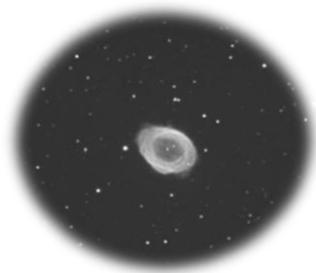


リング星雲 M57

こと座にある有名な星雲で、口径10cm以上の望遠鏡で、ドーナツのような形が見えてきます。

中心に高温の星が光っており、そのまわりのガスが中心の星の刺激で発光して見えています。

50億年後の太陽もこのような姿になるといわれています。



次回の天文教室は

8月7日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



Matsue Astronomy Club
MAC 松江星の会